

# JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2013年11月25日  
JAM熟練技能継承推進室

## 技能検定試験 合格率が向上

### ～技能指導実施高校の平成25年度前期技能検定受検結果～

平成25年度前期の技能検定職種・作業で今年度JAMが熟練技能者を指導派遣しているのは「機械作業」「電子機器組立て」「金属熱処理」の3職種で、JAMが熟練技能継承事業を行っている3府県の高等学校の結果について、合否状況をまとめた結果、合格率が向上していることが確認された。

機械加工職種で受検したのは「普通旋盤作業」と「フライス盤作業」。

例年高い合格率をあげているが、今年度は昨年度に対して更に合格率を向上させている。

電子機器組立て職種の「電子機器組立て作業」は昨年から取り組んでいるもので、2クラス全員を受験させるという熱の入れようだが、指導する熟練技能者の目の届く範囲は限られ、合格率はまだまだ低い状況であった。

そうした中で指導に対する学校と熟練技能者の役割分担を工夫、今年は合格率を大幅に向上させている。

金属熱処理職種に取り組む高校(1校)は、JAMに熟練技能者の指導を依頼するのは今年が初めてだが、金属熱処理職種の「一般熱処理作業」「浸炭・浸炭窒化・窒化処理作業」で難度の高い技能検定2級へのチャレンジとその合格率は評価に値する。

熟練技能継承事業で指導者を派遣している職種・作業の技能検定は、後期に「機械検査」や「シーケンス制御」が実施されることになっており、比較的合確率の高い分野なので、好結果が期待される。

